

KIITO:

神戸市×浜松市 ユネスコ創造都市ネットワーク連携企画 「ホウキがエレキ？オモシロ楽器をさわってみよう！」の開催 オモシロ楽器の展示と開発者トークイベントの開催

神戸市の都市戦略「デザイン都市・神戸」の拠点施設である「デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）」では、創造性を育むさまざまな活動に取り組んでいます。

この取り組みの一環として、次のとおりイベントを行いますので、ぜひご参加ください。

掃除のほうきが、本当に音が出る楽器になったら？

そんなワクワクするオモシロ楽器がクロスメディアイベント「078（ゼロナナハチ）」に登場します。

オモシロ楽器は、音楽の都・浜松市（静岡県）を代表する電子楽器メーカーであるローランド株式会社の公認部活動「R-MONO Lab」が制作しており、このイベントでは実際にさわって演奏することができます。さらに、こどもたちを中心とした参加者に「自分のやりたい」を実現するすばらしさを伝えるトークイベントも開催しますので、ぜひご参加ください。



開催概要

｜タイトル｜ホウキがエレキ？オモシロ楽器をさわってみよう！

｜会期｜2019年4月29日（月・祝）12:00～17:00（14:00～15:00 はトークイベント開催）

｜会場｜デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）3F 303

｜内容｜

（1）作品展示

箒（ほうき）ギターや、リコーダーでつくったパイプオルガンなど、ワクワクするオモシロ楽器の展示。開発メンバーによる実演や、演奏体験もできます。

（2）トークイベント「ほうきでギターつくってみた。ワクワクをかたちにするためのひみつトーク」

講師：山本敬之（ローランド株式会社経営企画室／R-MONO Lab 部長）

R-MONO Lab 部長がオモシロ楽器の紹介を行います。オモシロ楽器がどのような想いで生まれたか、またワクワクするアイデアをかたちにするための秘訣についてお話いただきます。

｜参加｜無料、小中学生から大人の方まで、どなたでもご自由にお越しください。

｜申込｜トークイベントは、ウェブサイト（<http://kiito.jp>）からお申し込みください。

（定員 50 名で事前申込み優先、当日参加可。）

｜主催｜078 実行委員会、神戸市、デザイン・クリエイティブセンター神戸

｜協力｜浜松市、ローランド株式会社、神戸市こどもの創造的学びに関する研究会

2. 浜松市との連携

本イベントは、同じくユネスコ創造都市ネットワークの音楽都市に認定されている浜松市との連携企画です。「R-MONO Lab」は、その浜松市を代表するローランド株式会社の公認部活動で、「とにかく自分たちの作りたいものを作る」をモットーとして、電子楽器ブランドでの専門的な技術も用いながら、独創的でワクワクする楽器を次々に生みだしており、大きな注目を集めています。

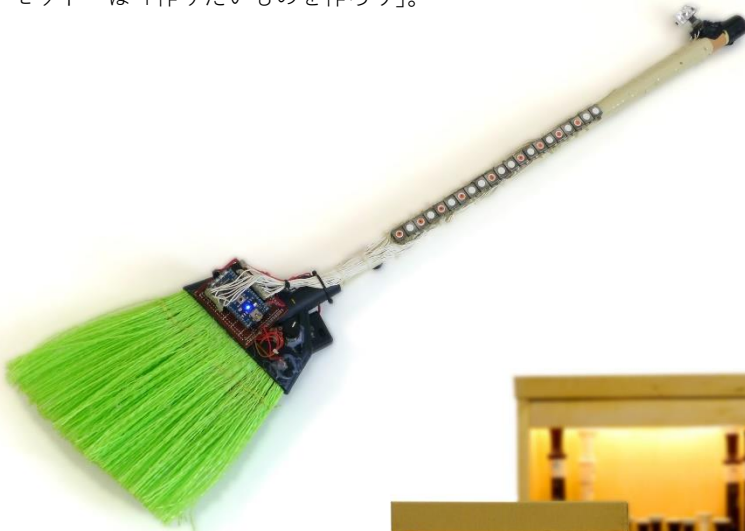
また、神戸市が2018年7月に立ち上げた「神戸市こどもの創造的学びに関する研究会」とも連携して、次世代を担う創造的人材の育成を目指します。

プロフィール

山本 敬之（やまもと・たかゆき）：1969年岡山市生まれ、1994年ローランド入社。開発、マニュアル、マーケティング部門を経て2018年9月より現職。2014年「R-MONO Lab」を設立し部長として活動中。



R-MONO Lab（あーるものらぼ）：ローランド株式会社のもの作り同好会。Maker Faire 等ものづくりイベントでの作品発表や、工具を安全に利用するための社内講習会など、部員同士の交流をしながら制作活動が続ける。モットーは「作りたいものを作ろう」。



箒（ほうき）ギター

放課後の掃除の時間に誰もがやった「箒（ほうき）ギター」を実現しました。柄（フレット）のボタンを押しながら、毛をピックでこするとギターのように演奏できます。



リコーダー・パイプオルガン

リコーダー（縦笛）で作った、世界で一番小さい、A4サイズの鍵盤付きパイプオルガンです。

小学校の頃使っていたリコーダーを集めて、小さなパイプオルガンを作ったらカワイイじゃない？そんな思いつきから作ってみました。

段ボール電子カホン

「カホン」という楽器を知っていますか？イスのように座って、手で叩いて演奏する打楽器です。そんなカホンを段ボールで作ってみました。

でも、不思議、段ボールなのに、たたくと電子音が鳴るよ！